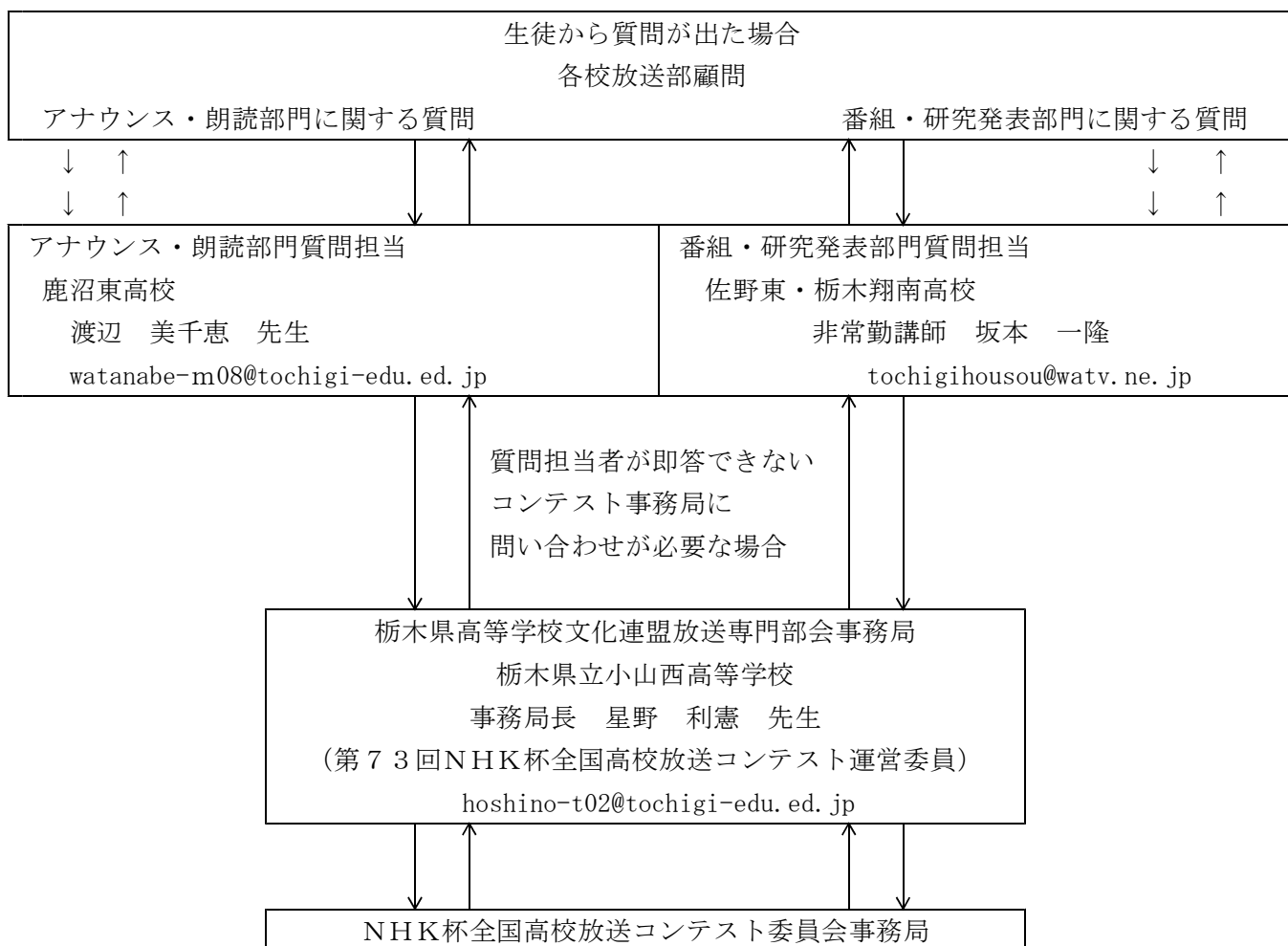


令和 8 年度第 7 3 回NHK杯全国高校放送コンテスト 栃木県予選作業分担

- | | | |
|----------------------|------------|----------------|
| ・アナウンス部門、朗読部門の質問への回答 | 鹿沼東高校 | 渡辺 美千恵 先生 |
| ・番組部門、研究発表部門の質問への回答 | 佐野東・栃木翔南高校 | 坂本 一隆 先生 |
| ・参加申込書の提出先（エントリー） | 上三川高校 | 関 望美 先生（前 事務局） |
| ・アナウンス・朗読部門の原稿提出先 | 上三川高校 | 関 望美 先生（前 事務局） |



令和 8 年度第 7 3 回 N H K 杯全国高校放送コンテスト 全国推薦作業分担

・アナウンス部門、朗読部門の確認作業	上三川高校	関 望美 先生（前 事務局）
・番組部門、研究発表部門の確認作業	佐野東・栃木翔南高校	坂本 一隆 先生
・原稿、番組進行表、作品データ等のとりまとめ	小山西高校	星野 利憲 先生（事務局）
・b o x への作品データ等のアップロード	小山西高校	星野 利憲 先生（事務局）
・カフェテリアふじの申し込みとりまとめ	小山西高校	福島 貴世 先生（事務局）

県予選終了 6 月 1 4 日（日）

アナウンス・朗読部門

＜原稿の確認＞

- ・推薦校顧問
原稿ができ次第、全国推薦生徒の原稿を P D F データにして確認担当者にメールで送信する。
※時間に余裕を持って送信する。
- ・確認担当者（上三川高校 関 先生）
送られてきた原稿を確認する。
確認事項は、別紙を参照
推薦校顧問に確認内容をメールで伝える。
修正が必要な場合は、その内容を知らせる。
- ・推薦校顧問
完成版を小山西高校星野先生宛に郵送する。
提出締め切り 6 月 日（ ）必着
※必ず記録の残る形で発送する。

番組・研究発表

＜番組進行表・作品の確認＞

- ・推薦校顧問
番組進行表の電子データを確認担当者にメールで送信する。
- ・確認担当者（佐野東・栃木翔南高校 坂本先生）
全国推薦作品の作品データと番組進行表を預かり、
内容に不備がないか確認する。
確認事項は、別紙を参照（作成中）
推薦校顧問に確認内容をメールで伝える。
修正が必要な場合は、その内容を知らせる。
- ・推薦校顧問
完成版を小山西高校星野先生宛に郵送する。
提出締め切り 6 月 日（ ）必着
※必ず記録の残る形で発送する。

＜アナウンス部門の確認事項＞

表紙について

- 毎年コンテスト事務局のホームページ（ https://hosokyoiku.jp/ncon_h/ ）からダウンロードして使用することになっています。前年度の様式は使用できません。

原稿用紙部分の下に

「第72回NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス・朗読部門 原稿用紙 20×10」

と印刷されているのでわかりますが、このフッタの部分の数字を書き直されてしまうと気付けません。

- ・書式を変更してはいけません。

文字数が多く収まりきらない場合に限り、フォントを小さくしてすべて表示できるようにしてください。

- ・学校名が正式名称になっているか。

栃木県立が抜けていたり、書き始めが県立で書き始まっている、高等学校でなく、高校になっている。

私立高校の場合、「学校法人〇〇〇」は、不要です。

(正しい記入例) 栃木県立〇〇高等学校

〇〇大学附属高等学校

- ・ふりがなが、平仮名で書かれているか。

- ・学校名が長い場合は、フォントを小さくして調節する。特にふりがなが収まるか注意してください。

- ・参加校顧問のチェック欄に レ点 が入れられているか。確認者氏名に顧問氏名が記載されているか。

- ・氏名は、略字ではなく、正式な字を使用してください。

(例) 高橋の「高」、齋藤の「齋」、吉田の「吉」など

[illegible]

第72回WBC杯全国高校軟式野球選手権大会 アナウンス・解説部門 原稿用紙 20×10

(例読証印のみ)	作品名 (編名)	作者名	氏名	ふりがな	学校名	ふりがな	様式1 アナウンス・朗読部門 原稿用紙 部門

※正式名称を記入すること。

	作品番号	※抽出した開始ページ番号を記入する(作品番号は除く)。 抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。	準決勝番号
	開始ページ		記入しないでください

確認欄	チェック欄	確認者氏名
参加校顧問		
都道府県担当者		

(エントリーシール貼付欄)

様式は直接入力・手書きのどちらでも構いません

(参考) 第72回大会の時の様式

※アナウンス部門の場合は、作者名、作品名、作品番号、開始ページは記入不要です。

※準決勝番号の欄は、全国大会で準決勝に進出した場合に使用しますので、何も記入しないでください。

原稿について

- ・原稿用紙の使い方コンテストではないので、行頭に「 、 」がきいているとかで減点になることはありません。
- ・原稿は、自作なので、原稿自体の確認作業はおこないません。
誤字等は、本人と顧問の確認段階で修正してください。
- ・他人の原稿のパクリでないか、顧問の段階で本人に確認してください。
- ・原稿をコンテスト事務局に提出すると、変更できなくなります。
いったん提出された原稿は、締め切り期限内であっても変更できません。

読みについて

- ・県予選の時のものでなく、作り直している原稿は、制限時間で読めているか、顧問が計時をして確認しているか。顧問の先生の前で読んで、制限時間をオーバーしていたり、時間不足であったりしないか。
アナウンス部門と朗読部門は規定時間が違うので注意する。
- ・読みについては、確認者の段階では確認のしようがありませんので、顧問の先生が、聞いてあげてください。
- ・本番で読むときに、原稿と違う読みをした。
読み間違い、読み飛ばしは、程度によって減点または失格になります。

表紙について

- 毎年コンテスト事務局のホームページ（ https://hosokyoiku.jp/ncon_h/ ）からダウンロードして使用することになっています。前年度の様式は使用できません。

「第72回NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス・朗読部門 原稿用紙 20×10」

と印刷されているのでわかりますが、このフッタの部分の数字を書き直されてしまうと気付けません。

- 文字数が多く収まりきらない場合に限り、フォントを小さくしてすべて表示できるようにしてください。

- 栃木県立が抜けていたり、書き始めが県立で書き始まっている、高等学校でなく、高校になっている。私立高校の場合、「学校法人〇〇〇」は、不要です。

(正しい記入例) 栃木県立〇〇高等学校

〇〇大学附属高等学校

- ・ふりがなが、平仮名で書かれているか。

- ・学校名が長い場合は、フォントを小さくして調節する。特にふりがなが収まるか注意してください。

- ・参加校顧問のチェック欄に レ点 が入れられているか。確認者氏名に顧問氏名が記載されているか。

- ・氏名は、略字ではなく、正式な字を使用してください。

(例) 高橋の「高」、齋藤の「齋」、吉田の「吉」など

- ・ 作者名、作品名、作品番号、開始ページが記入されているか。

版が指定されている場合は、違う版を使用すると、開始ページが違っていたりしてわかってしまいます。
指定の文庫、指定の版を使用しているか、現物で確認してください。

[illegible]

第72回V9杯全国高校放送コンテスト アナウンス・朗読部門 原稿用紙 30×10

作品名 (短編名)	作者名	氏名	ふりがな	学校名	ふりがな						
※正式名称を記入すること											
<div> <div> 様式1 アナウンス・朗読部門 原稿用紙 </div> <div> 部門 </div> </div>											
<table border="1"> <tr> <td>作品番号</td> <td>※抽出した開始ページ番号を記入する(作品番号5は除く)。 抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。</td> </tr> <tr> <td>開始ページ</td> <td></td> </tr> </table>					作品番号	※抽出した開始ページ番号を記入する(作品番号5は除く)。 抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。	開始ページ		<table border="1"> <tr> <td>準決勝番号</td> <td>記入しないでください</td> </tr> </table>	準決勝番号	記入しないでください
作品番号	※抽出した開始ページ番号を記入する(作品番号5は除く)。 抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。										
開始ページ											
準決勝番号	記入しないでください										
<table border="1"> <tr> <td>確認欄</td> <td>チェック欄</td> <td>確認者氏名</td> </tr> <tr> <td>参加校顧問</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>郵送府県田舎者</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	確認欄	チェック欄	確認者氏名	参加校顧問			郵送府県田舎者			(エントリーシール貼付欄) 様式は直接入力・手書きのどちらでも構いません	
確認欄	チェック欄	確認者氏名									
参加校顧問											
郵送府県田舎者											

(参考) 第72回大会の時の様式

※準決勝番号の欄は、全国大会で準決勝に進出した場合に使用しますので、何も記入しないでください。

原稿について

- ・原稿用紙の使い方コンテストではないので、行頭に「 、 」がきいているとかで減点になることはありません。
- ・正確に書き出されているか、文庫と照らし合わせて確認してください。
一文抜けは、失格になります。
誤字等は、本人と顧問の確認段階で修正してください。
- ・他人の原稿のパクリでないか、顧問の段階で本人に確認してください。
- ・原稿をコンテスト事務局に提出すると、変更できなくなります。
いったん提出された原稿は、締め切り期限内であっても変更できません。

読みについて

- ・県予選の時のものでなく、作り直している原稿は、制限時間で読めているか、顧問が計時をして確認しているか。顧問の先生の前で読んで、制限時間をオーバーしていたり、時間不足であったりしないか。
アナウンス部門と朗読部門は規定時間が違うので注意する。
- ・読みについては、確認者の段階では確認のしようがありませんので、顧問の先生が、聞いてあげてください。
- ・本番で読むときに、原稿と違う読みをした。
読み間違い、読み飛ばしは、程度によって減点または失格になります。